

平成 29 年度第 4 回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成 30 年 3 月 17 日（土）午前 10 時～12 時

2 開催場所 中央図書館 2 階視聴覚室

3 出席者

（委員） 押樋委員長 小出副委員長 豊永委員 立松委員 須賀委員
西村委員 伊勢田委員 高橋委員

（事務局） 中央図書館長 中央図書館副館長 総務係長 総務係主任司書
奉仕第 2 係長

4 傍聴人 0 人

5 議題

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度下半期の行事について
- ② 予算委員会について
- ③ 平成 28 年度図書館自己点検評価について
- ④ 図書館協議会視察について

6 議事の概要

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度下半期の行事について、事務局より報告を行った。
- ② 予算委員会について、事務局より報告を行った。
- ③ 平成 28 年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
- ④ 図書館協議会視察について、事務局より報告を行った。

7 会議経過

（1）報告事項

- ① 平成 29 年度下半期の行事について、事務局より報告を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（意見）たくさんの行事を企画しているが、どれも他でやっている印象である。
そろそろ浦安図書館ならではの企画を作ってはどうか。そういう意味
では、高校生のペープサートは若い世代の参加という意味で、新鮮で
良かった。浦安の図書館に限らず公共図書館の児童サービスが、幼児
サービス中心になっている傾向があるので、それ以外のところで、是

非、力を発揮していただきたい。

(意見) 子どもの読書量が小学校1年生を境に極端に落ちることが全国的な傾向としてある。浦安でも、乳幼児サービスから、その世代につながるサービスを企画すると良いと思う。

(意見) 浦安図書館発の企画はいろいろあるが、発信していないために知られていないだけではないか。例えば、「福袋」は浦安の図書館が最初だったと思う。もっと発信してPRしたほうが良い。

(回答) 図書館サポーターという形で中高生に参加していただいたり、浦安高校の生徒さんにペープサートを演じてご協力いただいた。異年齢の交流ということで意義のある企画だったと考える。大規模改修後も、子どもたちにとって居心地のいい場所を作っていきたいと思っている。

(意見) 市内には、ブラックライトを使用したパネルシアターを行う「ブラックシアターの会」などもあるので、参考にしてほしい。

② 予算委員会について、事務局より報告を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

(質問) 大規模改修の間、職員はどうするのか。

(回答) 分館は運営するので、分館に勤務する者もいる。もしくは中央図書館の代替施設で勤務する。

(質問) 改修工事があるということで、サービス関係が減額しているのはわかるが、協議会の経費や職員給与の減額は何か。

(回答) 協議会の経費については、隔年で実施している県外視察を来年度は実施しないための減額である。職員給与は、今年度末での退職者がいるための減となっている。

(意見) 大規模改修中に、普段はなかなかできない職員研修や視察をしっかりと行うと良いと思うが、むしろ研修費は減額となっている。

(回答) 来年度については、改修は1月からである。研修や視察については、次の年度に検討する。

(質問) 図書サービスコーナーの運営費だけ増額となっているのは。

(回答) 1月から中央図書館が休館となることで、利用が増えることが予想されるため、人員を増やしている。

(意見) 講演会の開催経費が減額となっているのは会場の関係だと思うが、何も中央図書館でなくても、開催は可能なのではないか。

(回答) 図書館で開催する講演会は、単なる講演会ではなく、図書館の資料と結び付けることを重視して図書館で実施している。利用者には大変好評なイベントなので、リニューアル後には、復活して開催したいと考えている。

- (意見) 大規模改修に向けての準備など、本当に大変だと考えるが、何が大変なのかを市民に見える化することも必要ではないか。
- (意見) 全国の図書館からも注目されている。見えない部分の記録もしっかりとっておいてほしい。
- (意見) ツイッターやブログ、展示など、写真で工事の状況を発信していてもいいのではないか。
- (回答) 80万冊以上の蔵書を、全て倉庫に預ける予定である。箱詰めの手取りや、その前の準備など、他の施設にはない作業も多い。市民へのPRも検討していきたい。

③ 平成28年度図書館自己点検評価について、事務局より報告を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- (意見) 協議会委員の意見へのフィードバックが記載されていて、よくまとまっていると思う。
- (意見) 児童サービスについて、小学生向けのIT技術の体験ができるコーナーなどがあるとよいのではないか。本以外のことで、興味を引いて図書館に来てもらうというのにも必要なのではないか。
- (意見) ITについては、これから教育改革が始まるが、スマホやタブレットは使えるがパソコンは使えないという若者が増えている。パソコンの使い方の支援を、公民館等と連携して行うのもいいのではないか。
- (回答) 浦安市では学校において、子どもたちにタブレット端末を使わせる取り組みが始まっている。図書館でも注視しながら、取り組んでいきたい。
- (質問) 読書会への補助金事業を行っているが、それについて触れられていない。
- (回答) 自己点検評価は、図書館の全ての事業について取り上げているわけではない。補助金事業については、図書館概要等、他の報告で記載している。また、読書会や図書館友の会については、ホームページでも情報を記載している。

④ 図書館協議会視察について、事務局より報告を行った。
その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

- (意見) レストランがおいしそうだった。地域資料室に作家のコーナーがあり、うらやましく思った。
- (意見) 図書館の見学ツアーは初めてであったが、中央図書館のヘビーユーザーから見ると、浦安の図書館が一番である。居心地の良さは箱物とし

での良さだけではない。スタッフの方たちの姿勢、雰囲気、適度な距離感などが関わっている。ラウンジの存在なども重要。お昼を食べながら本を読めるというのは、とても大事な環境である。

(意見) 浦安の図書館の良さは、スタッフの良さがある。他の図書館に行くと感じる。

(意見) 空調が下から出ているのがよかった。また、本の大きさに合わせて変えられる書架や、新聞の書見台が、立って見るタイプのものであるのもよかった。

(意見) 大型館をいかに効率よく運用するかという、使い勝手のヒントがいくつかあったと思う。棚の規格を揃えて、本の大きさに合わせて変えられるようにしたことや、電動の集密書架をやめた点など。必ずしも最先端が使いやすいとは限らない。

(意見) 最近できる図書館は、どれも大型化していて、使う人にはあまり使いやすくない。自分が、その図書館の中のどこで、どう過ごすかを考えると、大きさはあまり必要ない。また、集客ばかりを目的にするところが多いが、図書館の本来の目的を見失わないでほしい。

(回答) いろいろいただいたご意見を参考に、大規模改修の設計を進めていきたい。

以上